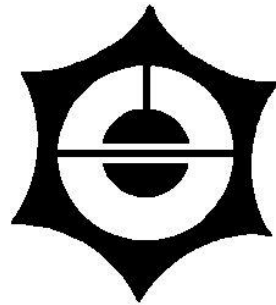


令和3年度

広聴一年

(区民の声)



台東区総務部

広報課

はじめに

台東区では、区民の皆様が生活のなかで感じているご意見を「区民の声」として広くお聞きしています。

区民の皆様からいただいたご意見、要望等につきましては、迅速に回答するとともに、「区民の声」として区政運営の資料として活用させていただいております。

この度「令和3年度広聴一年（区民の声）」を作成しました。この報告書は令和3年度の広聴活動による「区民の声」を集約するとともに区公式ホームページに掲載するなど区民の皆様や関係機関と情報の共有化を図っております。

令和4年8月

台東区総務部広報課

※この報告書は、区公式ホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。

目 次

I 集団広聴

- 1. 区長と語る会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (1) 台東区町会連合会・町会役員との語る会・・・・・・・・・・ 1

II 個別広聴

- 1. 区民の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (1) 受付件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (2) 課題別分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (3) 関係所管別分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- (4) 処理結果別分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

III 調査広聴

- 1. 台東区民の意識調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (1) 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (2) 調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

- 2. 区政サポーター制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (1) 第1回アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- (2) 第2回アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- (3) 第3回アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- (4) 臨時アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- (5) 第4回アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

I 集団広聴

1. 区長と語る会

区では、各種の懇談会に区長が出席して、直接区民の皆様の意見を伺うために実施しています。

語る会で寄せられた、地域で抱える問題や日常生活の中で感じた疑問点、意見、要望などは、区政への貴重な意見として活用しています。

令和3年度 集団広聴実施状況

名 称	対 象	回 数
区長と語る会	台東区町会連合会 (地区町連)	11回

令和3年度は、台東区町会連合会（11地区）を対象に11回開催しました。

意見・要望等とその回答の要旨は、「令和3年度区長と語る会結果報告書」（令和3年度登録第68号）にまとめました。「令和3年度区長と語る会結果報告書」は、区政情報コーナーや図書館等で閲覧できます。また、区公式ホームページで公開しています。

(1) 「台東区町会連合会・町会役員との語る会」

対 象	開 催 日	会 場	参加人数
浅草橋地区	11月 5日 (金)	浅草橋区民館	16名
浅草寿地区	11月 5日 (金)	寿区民館	28名
雷門地区	11月 8日 (月)	生涯学習センター	24名
竹町地区	11月 9日 (火)	台東一丁目区民館	9名
上野地区	11月 9日 (火)	上野区民館	16名
清川地区	11月10日 (水)	台東リバーサイド スポーツセンター	21名
馬道地区	11月11日 (木)	台東区民会館	17名
東上野地区	12月 3日 (金)	株式会社オーラム	18名
入谷地区	12月 6日 (月)	入谷地区センター (仮事務所)	17名
谷中地区	2月28日 (月)	谷中区民館	16名
金杉地区	3月 4日 (金)	金杉区民館	14名

※以下は語る会でのご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

その他のご意見につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。

浅草橋地区

◆コロナ禍における区の対策について

台東区では、近年国内外からの観光客、来訪者が増加し、宿泊業、小売業、飲食産業等の拡大が見られていましたが、その分、今回の新型コロナウイルス感染症の流行で受けた影響は計り知れず、大幅な税収の落ち込みが危惧されます。

今後の税収減に対する区の対応、対策について、どのようなお考えをお持ちか伺います。また大きなダメージを受けた中小企業や、サービス産業への具体的な経済支援策等はあるのでしょうか。

【回答】

区では国や都の補助金などの相談に応じる「特別相談窓口」や、中小企業診断士が経営相談を行う「緊急経営相談ダイヤル」の開設のほか、感染症の影響を踏まえた新たなビジネスに取り組む経費の一部を助成する「新ビジネスチャレンジ支援」や、中小企業者の返済負担の軽減を目的とした「新型コロナウイルス感染症対策借換特別資金」の融資、業況が悪化した事業者資金繰りを支援する「経営持続化特別資金」も実施しています。

また、区内で活躍する事業者の皆さまに会って商品に触れ、サービスを体感できる「産業フェア」では展示商談会を開催しました。

11月1日には旅行会社と連携協定を結び、伝統工芸職人の工房や老舗飲食店の厨房の撮影を行う旅行商品など、広く地域資源の周知を図れるような新しい取り組みも始めました。

今後も、地域経済の活性化に努めてまいります。



浅草寿地区

◆町会活性化について

令和元年に区で「町会活動に関する意識調査」を実施し、その結果報告がありました。

それを見ると、どの地区でも町会員の高齢化や役員のなり手不足、マンション増加による町会の会員の加入促進の難しさ等、深刻な課題は共通しているように思います。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、さらに町会の運営は厳しくなっています。

区は調査結果を今後、どのように活用し、様々な課題を解決させていくのか、町会活性化の支援策等を具体的にお聞きしたいです。

【回答】

町会活性化の支援策は大きく2点あります。

1点目は「町会運営の個別支援、並びに町会同士の情報共有」です。町会が直面する様々な課題を解決していくためには、全ての町会に対して一斉に支援を行うと同時に、個々の町会に対し個別に支援していく方法も重要であると考えています。そこで、令和3年度より「アドバイザー派遣」を開始しました。他の町会の取り組みについて共有し、良いと感じた事例は積極的に取り入れ、町会運営に活かしていただきたいと思います。

2点目は「町会活動の情報発信」です。調査結果より、「町会がどのような活動をしているのか分からない」と回答した方が多かったため、区公式ホームページで各町会を紹介する作業を行っています。同時に、新たに転入された方々が、自分がどこの町会なのかがわかるような準備も進めています。

今後、町会同士を結び付けるきっかけづくりの提供についても、検討してまいります。



雷門地区

◆隅田公園内及び周辺の管理について

昨年に続いて引続きのお願いとなります。

隅田公園水上バス横の美術作品周辺に多くの路上生活者が寝泊まりしています。若い方も見られ、火を使い調理をしたり、水上バスのトイレを使用して体を洗ったりしています。公園の管理、衛生上の問題もあり、区民が迷惑していますので、人権の問題もあるとは思いますが、区としての対応をお願いします。

また、その場所の下側に、リースの自転車を置く駐輪場を計画されているとのことですが、現在は違法自転車が多く停められています。路上生活者の対策、違法自転車の撤去等の対策をした上で、駐輪場についてお話させていただきたいと思います。

【回答】

区では月4回の特別清掃を行い、不衛生な利用に対する指導を行っています。さらに、月2回の割合で隅田公園一帯の巡回を行い、路上生活されている方に対して地域生活への移行を促しています。

今後も特別清掃による不衛生・不適切利用に対する指導や、路上生活されている方に対して巡回相談を行ってまいります。

助六夢通り沿いの公園敷地内へのシェアサイクルポートの設置については、改めて会長にご相談させていただきます。なお、今年8月に花川戸公園内の通路に設置したところ、放置自転車が減少しました。隅田公園周辺の対策にも効果があると考えています。

※令和3年12月、会長にシェアサイクルポートの設置について経緯を説明し、ご要望等をお聞きしました。(交通対策課)

竹町地区

◆青色パトロール車による巡回アナウンスについて

近頃、前方不注意や信号無視の自転車走行が急増しており、当町会内でも人身事故（当て逃げ）が発生しました。

そこで、青色パトロール車両の巡回中に拡声器を用いて、自転車運転者に対する「安全啓発アナウンス」をしていただきたいと思います。

【回答】

青色パトロール車は、子供の安全確保と地域の犯罪抑止を目的に実施していますが、今後は自転車運転者に対する安全啓発アナウンスについても検討いたします。

また、区では「東京都台東区自転車安全利用促進条例」に基づき、利用者のマナー向上に向け、区内の警察署と合同で小・中学生への交通教育や一般区民向けの講習会を実施しており、そのほか、広報たいとうやケーブルテレビ等による周知啓発を行っています。

今後も警察等と連携し、自転車のルールやマナーの啓発に努めてまいります。

上野地区

◆防災無線について

数年前にアナログからデジタル化へ更新し、屋外スピーカーの交換を行ったと思います。しかし、場所によっては未だに聞き取りにくい場合があります。他に情報を得る手段はあると思いますが、せっかく流した情報が聞き取れないのでは意味がありません。スピーカーを増やす等検討していただけないでしょうか。

【回答】

防災行政無線のデジタル化工事は、令和2年度末に完了しましたが、ご指摘のとおり周辺の建物状況や住環境、気象状況によって一部聞き取りづらい場合があります。今後も放送音量やスピーカーの方向の調整、聞き取りづらい地域にスピーカーの増設を検討する等、改善に向けて取り組んでまいります。

なお、区公式ホームページや「自動電話応答サービス」、「たいとう防災気象情報メール」、防災アプリ「台東防災」にて防災行政無線の放送内容を確認することもできますので、ぜひご利用ください。

清川地区

◆町会定例会資料ペーパーレス化について

毎月の地区町連の定例会における区からのお知らせのプリントや資料が多く、その保存に苦慮していますが、後日必要が生じた場合のことを考えると容易に破棄できません。

区ホームページにおける清川地区町会連合会のページから議題・資料・連絡事項等を見ることができればありがたいです。セキュリティ等の問題点等もあると思いますが、資料のペーパーレス化についてご検討をお願いします。

例えば、定例会の会議資料をスクリーンで説明し、手元の資料は希望でプリントアウト、またはタブレットやスマートフォンに出力できると良いと思います。

【回答】

区役所の業務において、文書の電子化や電子決裁を進め、ペーパーレスを推進しているところ です。

台東区町会連合会においても、9月からの定例会の会議資料を電子化しました。電子化した資料は、メール等でお渡しすることができますので、清川分室にご相談いただきますようお願いいたします。

また、今年度、東京都では「地域の底力発展事業助成」などの支援事業において、デジタル活用支援を始めましたのでご活用いただければと思います。

馬道地区

◆防災訓練について

東日本大震災の発生から今年で10年となり、あらためて防災意識の向上が必要と考えています。

区では昨年、町会に対するアンケート調査を実施され、総合防災訓練の見直しを行いました。今後は町会向けにどのような防災訓練を実施していく予定ですか。

区としてのお考えをお聞かせください。

【回答】

総合防災訓練を見直し、当面の間は避難所の開設、通信訓練など発災時の初動対応を強化することを目的として、区・避難所運営委員会・関係機関が合同で総合防災訓練を実施します。

区民の方を対象とした初期消火訓練や地震体験については、町会主体で行う町会単位防災訓練で実施し、町会の要望に応じて職員を派遣し、起震車体験訓練や防災出前講座を実施してまいります。

さらに、例年3月に実施している防災フェアでは、防災意識の啓発として、消防・警察・水道局をはじめとした防災機関の展示・体験を実施していく予定です。

今後も町会の皆さまや関係機関と連携をとり、訓練を行うなど防災意識の向上を図ってまいります。



東上野地区

◆空き家・空き店舗の利用活用と店舗出店希望事業とのマッチングについて

古くからの住民が減少にある中で、マンションが増え台東区内の世帯数や居住人口が増える喜びの反面、昔からの街並みが変わってしまう寂しさも感じています。下町の建物には、戦争時のエピソードがある家なども残っています。

都市開発会社は空き家が増えてくると、住人に立ち退いてもらってでもマンション建設に踏み出そうとしている現状があります。

一方、台東区内でオフィスや店舗を探している人も多く、特に使われていない古民家をリノベーションして使いたいという需要は数多くあります。空き家をリノベーションしてそこに新たなビジネスの場が生まれたら、景観を守りながらも地域活性化につながると思います。

今後、台東区として空き家の再利用や利用希望者とのマッチング等、今ある建物を活用するお考えをお聞かせください。

【回答】

商店街等の空き店舗対策では、区内の空き物件等で新店舗を開設する際、改修費等の一部を助成する「アトリエ・店舗出店支援事業」や、商店街の空き店舗を活用している事業者の賃料の一部を助成する「商店街空き店舗活用支援事業」を実施しています。

毎年募集しており、「アトリエ・店舗出店支援事業」では昨年度、区内に初めて出店したり、アトリエを改装したりする、革製品の製造や販売を行う7件の中小企業等に対して支援を行いました。また、4件の中小企業者等が「商店街空き店舗活用支援事業」を活用して事業を始めています。

これらの支援の後押しもあり、実際に御徒町から蔵前における地区では、民間事業者が主体的にリノベーションを実施して地域の活性化を生み出しています。

ご提案のマッチング等、空き家の活用については、地域の特性を踏まえたまちづくりを進めていく際の手法のひとつとして、今後も研究してまいります。



入谷地区

◆ポイ捨て行為等の防止に関する条例の強化について

令和3年4月から条例改定がありましたが、ポイ捨て状況が改善されていません。

千代田区の事例では、マナーからルールの必要性で、「ポイ捨て禁止条例」から「生活環境条例」へ格上げして、罰金を伴う制度変更がありました。

台東区にあっても更なるポイ捨て対策強化が必要です。具体的には、マナー指導員の増強と権限付与をしてほしいです。そして、学校・幼稚園・保育園・児童公園・公共スポーツ施設等の周辺地域を路上禁煙にしてほしいです。

ポイ捨て・吸い殻で悩まされている地域住民の声を条例に反映していただきたいです。

【回答】

区では、令和3年4月より「東京都台東区ポイ捨て行為等の防止に関する条例」を改正し、ポイ捨て禁止に加え、歩きたばこを禁止するとともに、朝7時から朝9時までを喫煙禁止時間と指定し、路上など公共の場所における喫煙を禁止としました。

しかし、「健康増進法」の改正や「東京都受動喫煙防止条例」の施行により、屋内での喫煙が原則禁止となったことから、屋外での喫煙の増加や、依然としてマナーが守られていない状況があるため、今後もさらなる分煙対策が必要だと認識しています。

マナー指導員は、放置自転車対策業務と兼務で約80名が巡回しています。さらに喫煙マナーに特化した指導員を6名配備し、マナー指導を行っています。今後もより効果的な配備体制を検討し、マナー啓発の強化を図ってまいります。

また、学校や幼稚園、公共スポーツ施設など特に配慮が必要な地域を「路上喫煙禁止」と指定してしまうと、民間駐車場など区で禁止できない場所に喫煙者が集まってしまうなどの課題があり、慎重な対応を取らざるを得ない状況です。

今後も屋外における喫煙マナーの指導を行い、引き続きマナー向上と喫煙環境の整備に努めてまいります。



谷中地区

◆防犯灯の設置について

既設の防犯灯の灯りが届かない暗がりの解消について質問します。

昨年、既設の電柱を利用して新たに設置していただいた防犯灯は、コンパクトですが広角で非常に明るいものでした。

設置場所の問題があると思いますが、他の場所にも電柱を増やさずに同じような防犯灯の増設、もしくは付け替えができないでしょうか。

【回答】

区では私道の夜間の安全を確保するため、防犯灯の設置助成を行っています。防犯灯には電柱に取り付けるものと、単独でポールに設置するものがあり、新設や改修を行う場合は、町会と区で立会いの上、申請をいただければ、町会の負担なしで設置することができます。

電柱を増やさずに同じような防犯灯の増設、または付け替えをするには、設置間隔など地域ごとの状況がありますので、確認し、担当の土木課から会長に連絡します。

※令和4年3月、会長に私道防犯灯設置助成制度の説明を行いました。(土木課)

金杉地区

◆在宅医療の推進について

厚生労働省は、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるような医療や介護が連携した体制の構築を目指し、取り組みを進めてきていますが、未だ約8割が病院で亡くなっている状況です。

上記体制を阻んでいるのは、自宅では難しいと考えている高齢者や家族の意識だと考えています。そこで、在宅医療の講習会や広報での積極的なPRをお願いしたいです。

【回答】

区では、自力での通院が困難になっても、住み慣れた地域や家庭で自分らしい最期を迎えるため、在宅や施設での看取りをより一層強化していく目的で、区立台東病院の2階に「在宅療養支援窓口」を設置し、在宅療養生活に関する相談をお受けしています。

また、区内の医師会・歯科医師会・薬剤師会、介護サービス事業者連絡会など、医療・介護関係団体で構成された「たいとう地域包括ケア推進協議会」が、在宅療養や看取りについての普及啓発講演会を開催しています。

引き続き、たいとう地域包括ケア推進協議会と連携して、区民の方々へ在宅療養や看取りについて、広く周知してまいります。

Ⅱ 個別広聴

1. 区民の声

区や区政に対する意見や提案等を専用はがきや、窓口、電話のほか、区公式ホームページからも受け付けています。

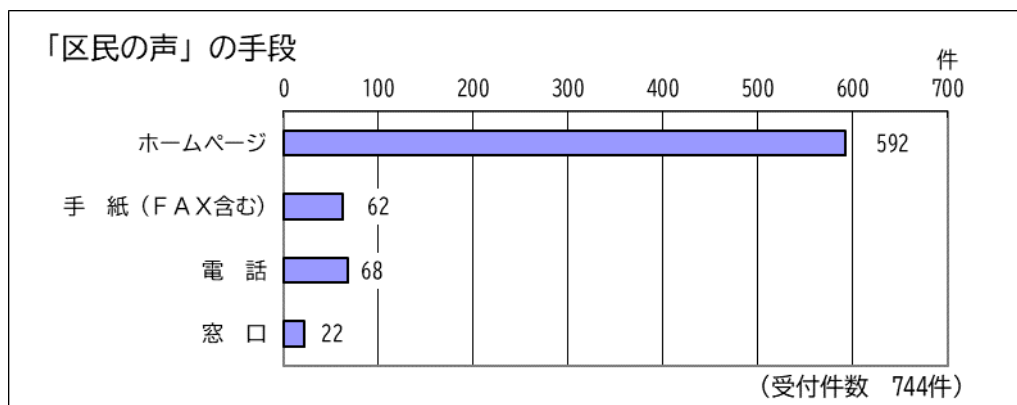
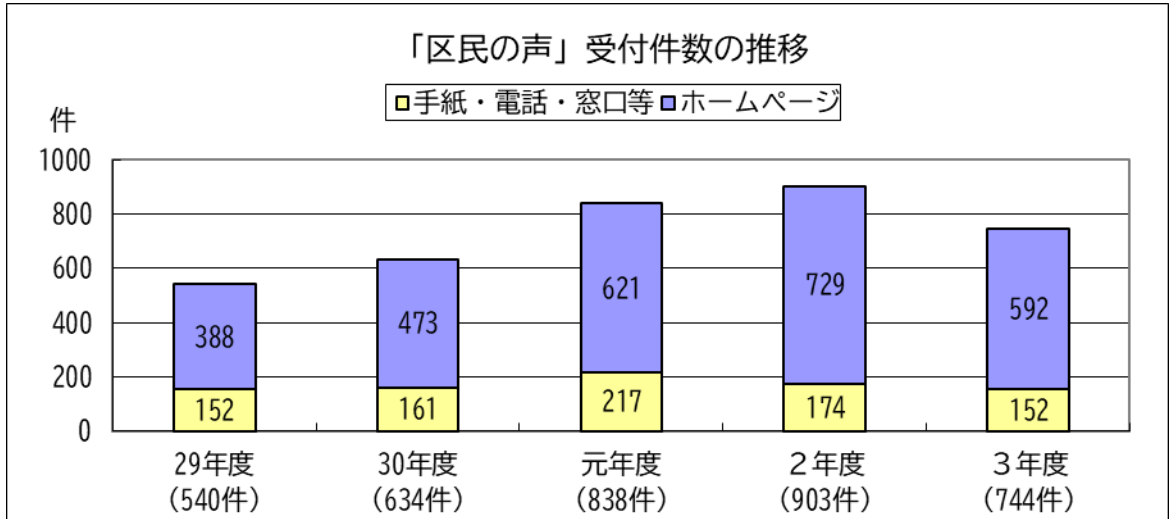
また、寄せられた意見等とその回答の要旨の一部を区公式ホームページ「区民の声」に公開しています。

(1) 受付件数（1件の受付件数で複数意見もあるため、意見数を延件数とする）

区民の声	受付件数	延件数
区長への手紙（手紙・窓口・電話等）	152件	158件
区長への手紙（ホームページ）	592件	596件
計	744件	754件

受付件数は744件で、前年度の903件より159件の減となりました。また、施策別、所管別など延件数は754件で、前年度の924件より170件の減となりました。

「区民の声」の手段では、ホームページからの意見が592件で受付件数全体の約80%を占めています。

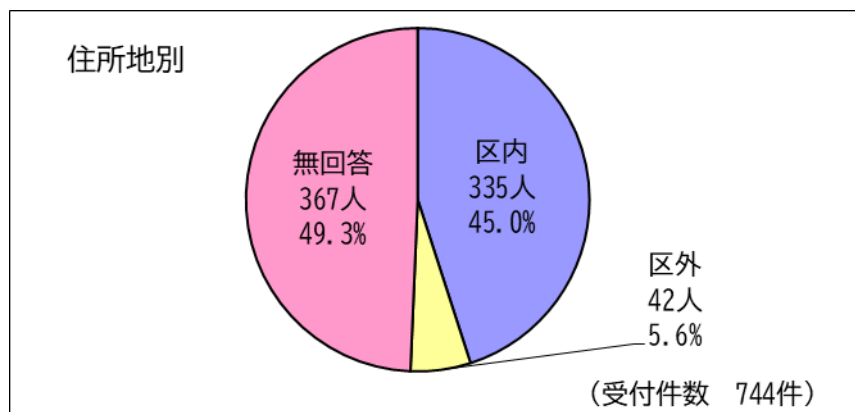
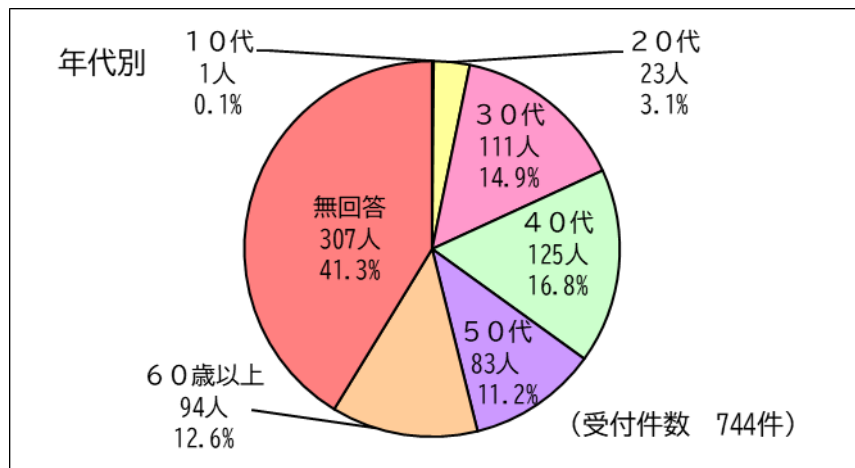
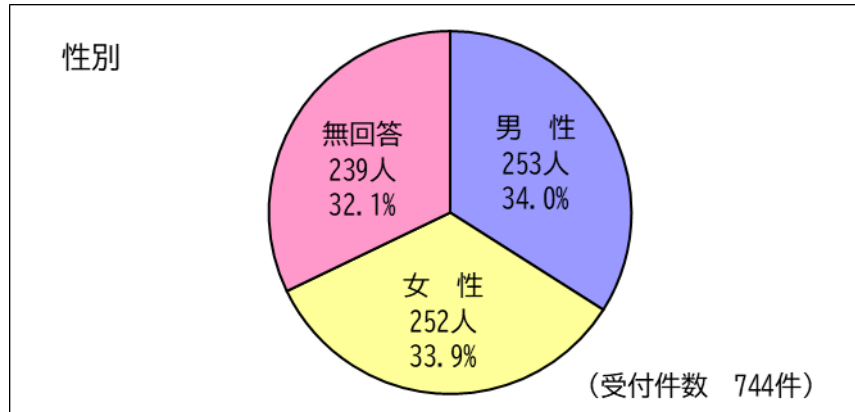


① 性別 ・ 年代別 ・ 住所地別

性別では、男性、女性の割合がほとんど等しくなりました。

年代別では、30代、40代の方で全体の約32%を占めました。

また、住所地別では、全体の45%が区内の方からの意見でしたが、区外の方からの意見も約6%ありました。

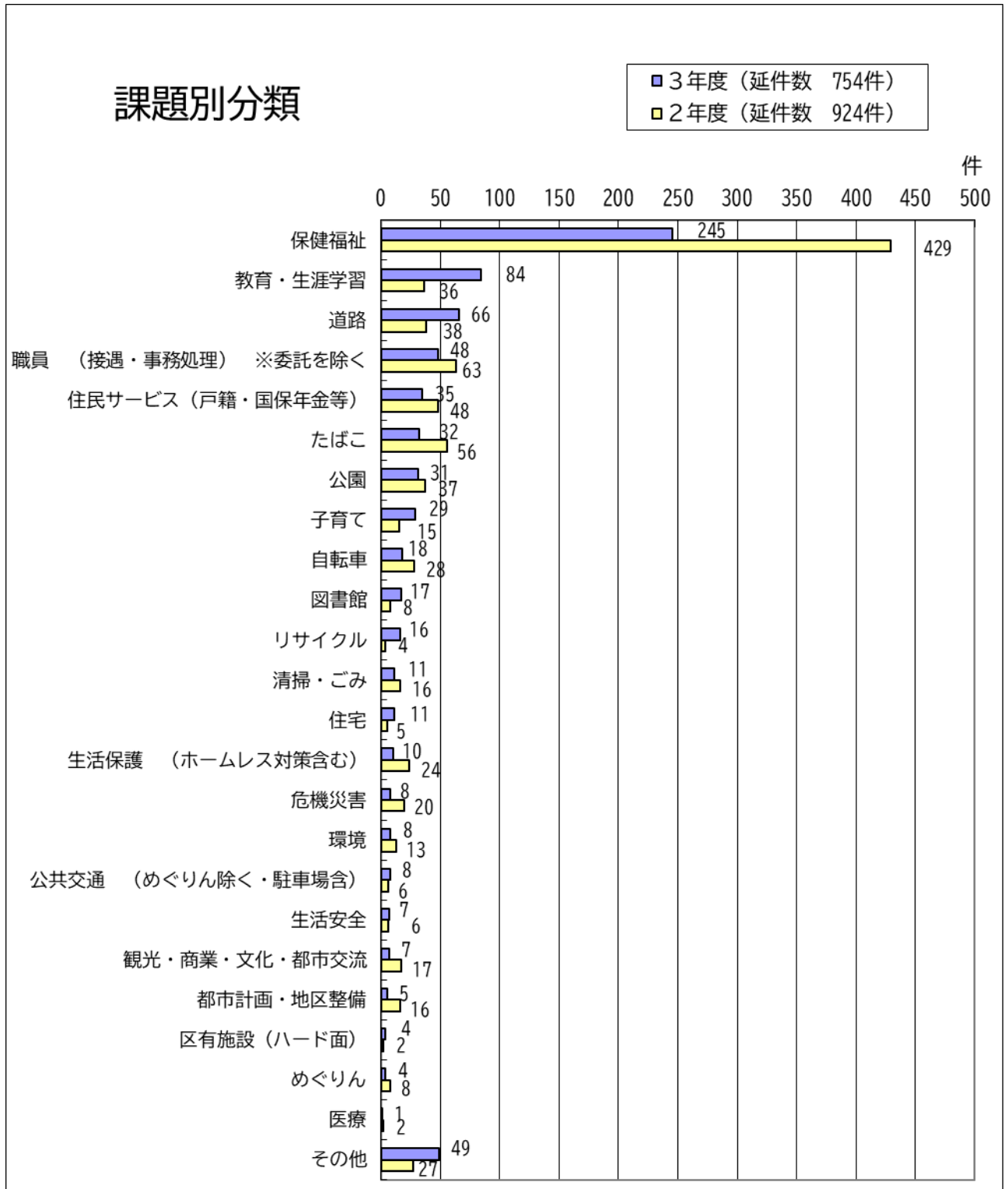


(2) 課題別分類

「区民の声」754件（延件数）の内の課題別意見です。

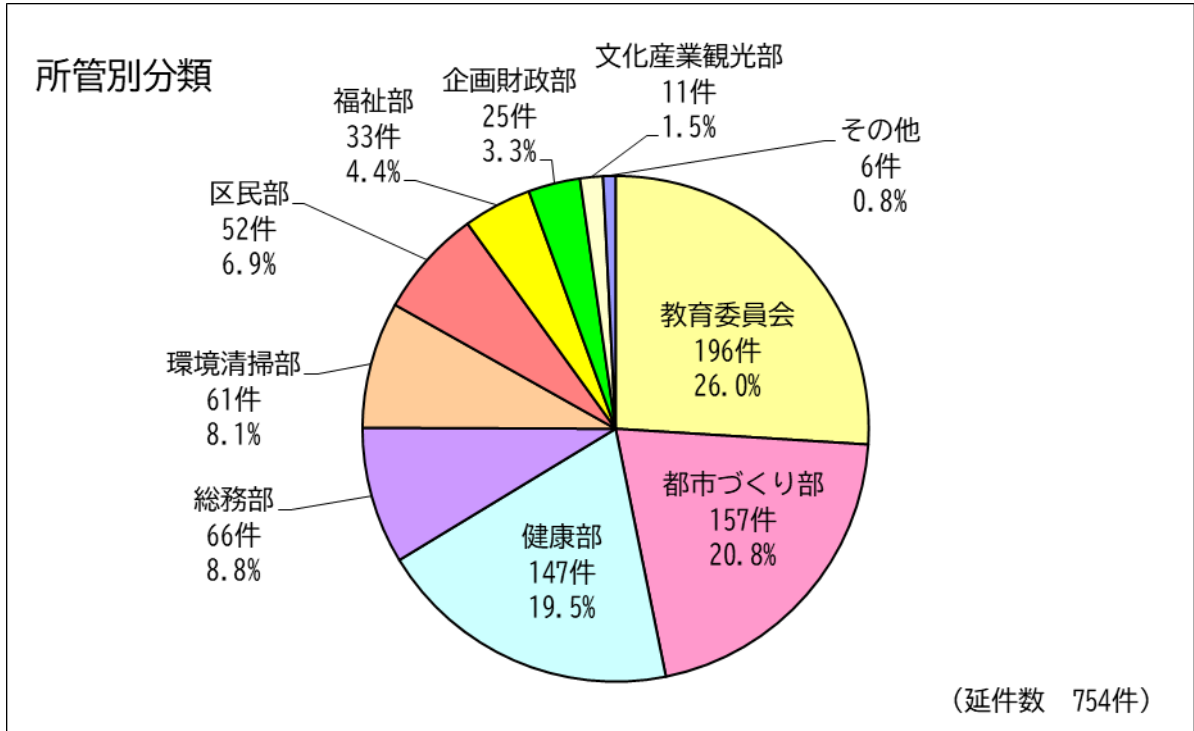
令和3年度は、【保健福祉】に関する意見を多くいただきました。

【保健福祉】に関する意見の多くは、新型コロナウイルス感染症に関するものでした。



(3) 関係所管別分類

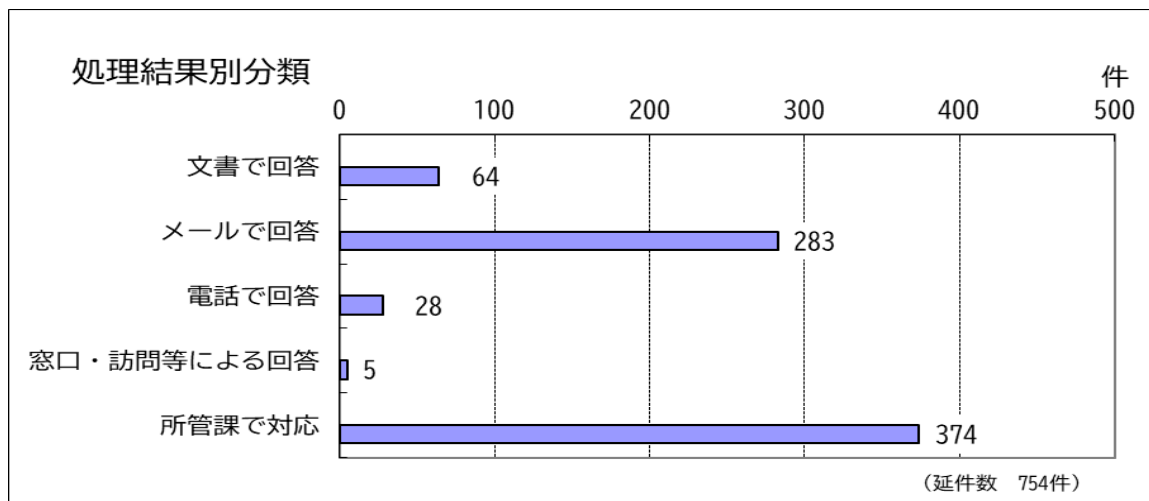
関係所管別に見ると、教育委員会と都市づくり部で全体の45%以上を占めました。教育委員会では、学校や保育園での新型コロナウイルス感染症対策へのご意見が多く、都市づくり部では自転車問題や道路占用についてのご意見が多くなりました。



(4) 処理結果別分類

処理件数のうち、文書で回答64件、メールで回答283件、電話で回答28件、その他、窓口や直接訪問し説明を行ったもの等が5件でした。匿名や住所等が不明な方には回答できず、所管課にて対応した件数が374件でした。

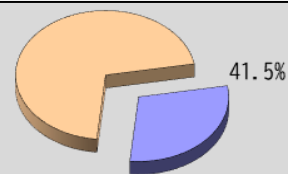
いただいたご意見の5割以上について、文書・メール・電話・その他（窓口・訪問等）の方法で回答しました。また、匿名等のご意見についても、必要なものは調査をし、貴重なご意見として区政に活用させていただきました。



以下は、「区長への手紙」に寄せられたご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

環境・リサイクル・保健福祉 【313件 / 754件】

(清掃・ごみ、リサイクル、環境、たばこ、福祉、医療)



◆飼い主のマナーについて

飼い主のマナーが一向に向上していません。朝晩、犬を連れて散歩をする人が多く、電柱におしっこをさせて、そのままにしているため、電柱は塩をふいた状態になっています。

【回答】

区では飼い主への啓発活動により、マナーの向上を図ることが重要であると考えております。

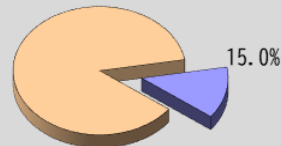
犬の糞尿につきましては、「東京都台東区ポイ捨て行為の防止に関する条例」により飼い主が処理するよう求めており、毎年実施する犬の狂犬病予防集合注射の際に、糞尿の始末について注意喚起をするとともに、広報たいとう等でも啓発しております。さらに、飼い主のモラルの向上のため、「犬のしつけ教室」を開催しております。

また、区民の方などからご相談を受けた際には、啓発用マナープレートや動物が嫌がる臭いのする忌避剤を配布する等、状況に応じて対応をしております。

人と動物が気持ちよく共生できる美しい街づくりのため、これからも継続して取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

教育・保育 【113件 / 754件】

(子育て、教育・生涯学習)



◆オンライン授業について

台東区はオンライン授業がまだできていません。これは新型コロナウイルス感染症のために登校を不安に思っている子供たち全てに関わる問題です。オンライン授業を全小中学校で、できるようにしてほしいです。

【回答】

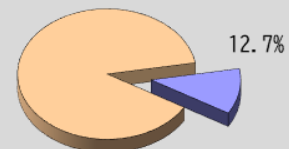
区では令和2年度に各小・中学校へタブレット端末等を整備し、現在、ICT教育の一層の充実に向けて取り組んでおります。各学校では授業支援ソフトウェアをはじめ、ドリル学習用ソフトウェア等の活用により、より効果的な教育実践を積み重ねています。

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にあたっては、学校の「新しい日常」の定着を目指したICT活用についても工夫しているところです。

今後も各校の実態に即したオンライン学習の活用など、学びを止めない学校教育の充実に向けて、課題等を整理しながら、ICT教育を更に推進して参ります。

交通・自転車・駐車場 【96件 / 754件】

(めぐりん、公共交通、道路、自転車)



◆歩行者通路について

線路わきの通路に「道幅が狭いので自転車は降りて通行してください」という立て看板がありますが、自転車で走行する人が多く、かなりのスピードで通行する自転車もいます。歩行者としては怖く、安心して通行できません。柵などを設置して、自転車が入り込めないようにしてほしいです。

【回答】

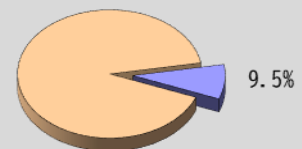
現在、区において注意を促す看板を設置しております。

通行制限や取締りについての所轄である警察署の交通規制係に確認をしたところ、当該通路には交通規制がかかっておらず、自転車や原動機付自転車が通行すること自体に違反性はないため、通行制限は難しい状況ということでしたが、今回いただいたご意見について伝えるとともに、自転車や原動機付自転車利用者に対する指導や取締り等、対策を検討してもらうよう、申し入れを行いました。

今後も関係機関と連携しながら、交通安全対策に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

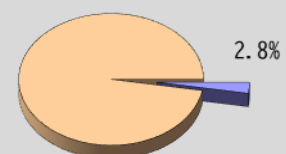
まちづくり・住まい・災害対策 【72件 / 754件】

(危機災害、生活安全、生活保護、都市計画・地区整備、公園、住宅)



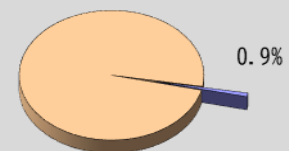
区民館・図書館などの区民施設 【21件 / 754件】

(区民施設、図書館)



観光・産業 【7件 / 754件】

(観光・商業・文化・都市交流)



その他 【132件 / 754件】

(住民サービス、職員、その他)



Ⅲ 調査広聴

区では、調査広聴として、「台東区民の意識調査」（奇数年に実施）や「区民サポーター制度」を実施し、区民の意見や要望などの区政への意向の把握に努めております。

1. 台東区民の意識調査

(1) 調査の概要

1. 調査の目的

区政の各分野における、区民の意向・要望および区民の生活意識等を把握し、今後の区政運営に反映させるための参考資料とする。

2. 調査の設計

- | | |
|------------|-----------------------|
| (1) 調査地域 | 台東区全域 |
| (2) 調査対象 | 台東区在住の満18歳以上の個人 |
| (3) 標本数 | 2,000人 |
| (4) 抽出方法 | 無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布一郵送回収またはインターネット回答 |
| (6) 調査期間 | 令和3年5月6日(木)～5月28日(金) |
| (7) 調査実施機関 | 株式会社 都市計画21 |

3. 調査内容

- | | |
|------------------------|------------------|
| (1) 定住性 | (12) まちづくり |
| (2) 生活安全 | (13) 交通対策 |
| (3) 災害対策 | (14) 生涯学習 |
| (4) かかりつけ医・歯科医・薬剤師(薬局) | (15) 協働による地域力の向上 |
| (5) 新型コロナウイルス感染症対策 | (16) ふるさと納税 |
| (6) 福祉のまちづくり | (17) 食品ロスの削減 |
| (7) 障害者の理解促進 | (18) 選挙 |
| (8) 介護 | (19) 広報 |
| (9) 平和事業 | (20) 区議会 |
| (10) 人権・男女共同参画社会 | (21) ケーブルテレビ |
| (11) 観光振興 | (22) 区政への関心と要望 |

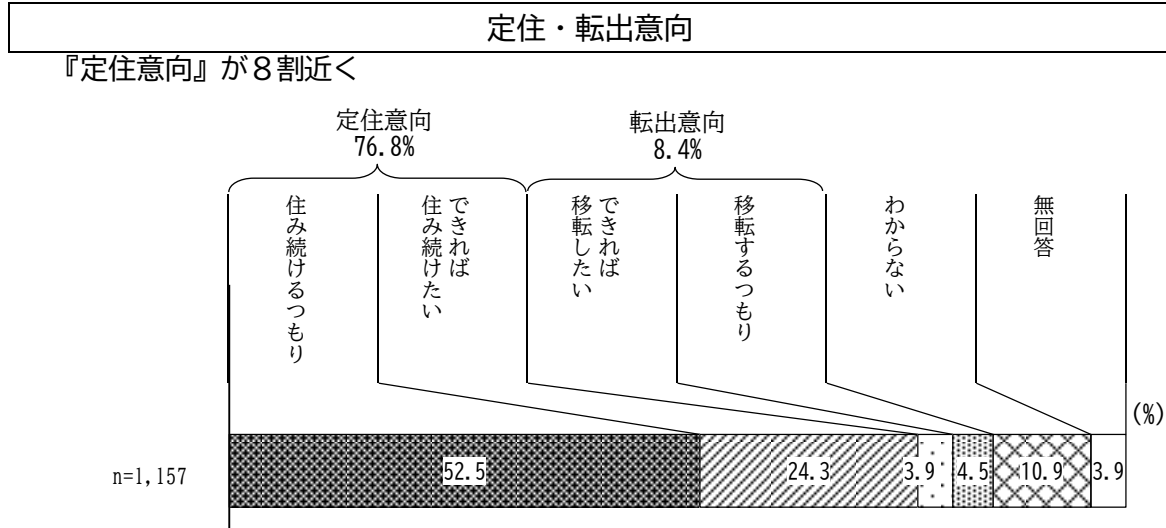
4. 回収結果

- | | |
|-------------|----------|
| (1) 標本数 | 2,000 標本 |
| (2) 有効回収標本数 | 1,157 標本 |
| (3) 有効回収率 | 57.9% |
| (4) 回収不能標本数 | 843 標本 |

(2) 調査結果の概要

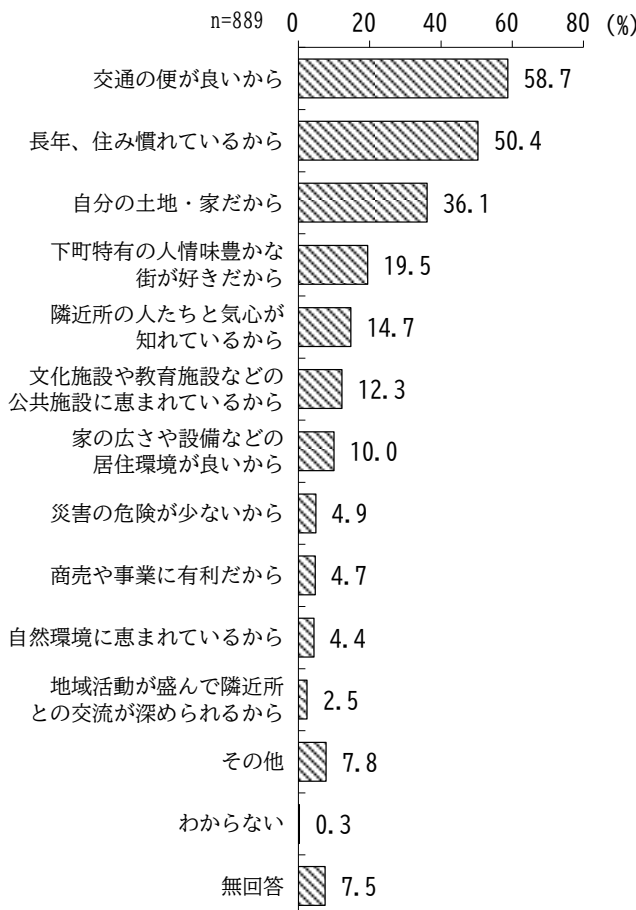
調査結果の一部を掲載します。なお、「令和3年度台東区民の意識調査報告書」は、区政情報コーナーや図書館等で閲覧することができるほか、区公式ホームページで公開しています。

1. 定住性



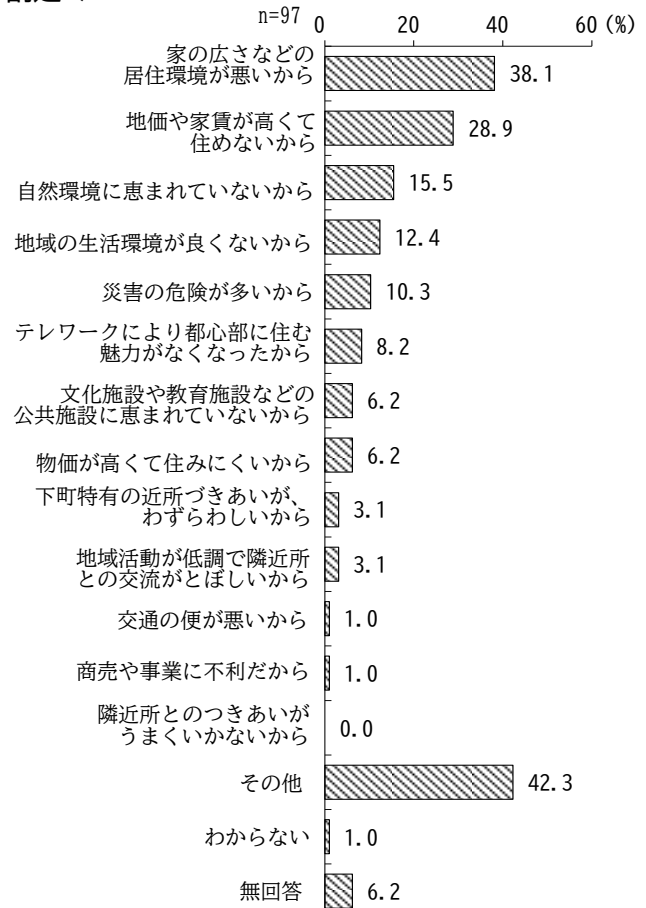
定住意向理由

「交通の便が良いから」が6割近く



転出意向理由

「家の広さなどの居住環境が悪いから」が4割近く



5. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症による影響は、「旅行など外出することをためらってしまう」や「友達に会えないなど交流機会の減少」といった回答が7割を超えています。加えて、「今後の見通しが立たないなどによる不安を感じる」「孤独を感じる」など不安や孤独を感じる人も多くなっています。

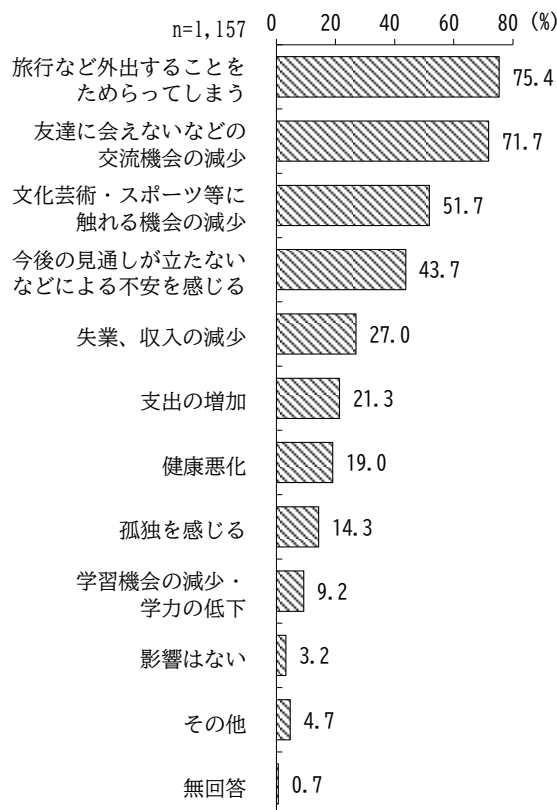
また、新型コロナウイルス感染症への対応として区が力を入れるべきものは、「新型コロナウイルスワクチンの正確な情報提供と速やかな接種」や「新型コロナウイルス感染症検査体制の充実」などの意見がありました。

区では、これまでも感染症対策をはじめ、生活困窮者への自立支援金、中小企業への助成や融資により、区民や事業者の方を支えるため取り組んできました。いただいた意見も踏まえ、引き続き感染症や社会経済活動の状況に応じて、適切な施策を迅速に展開してまいります。

(企画財政部 企画課)

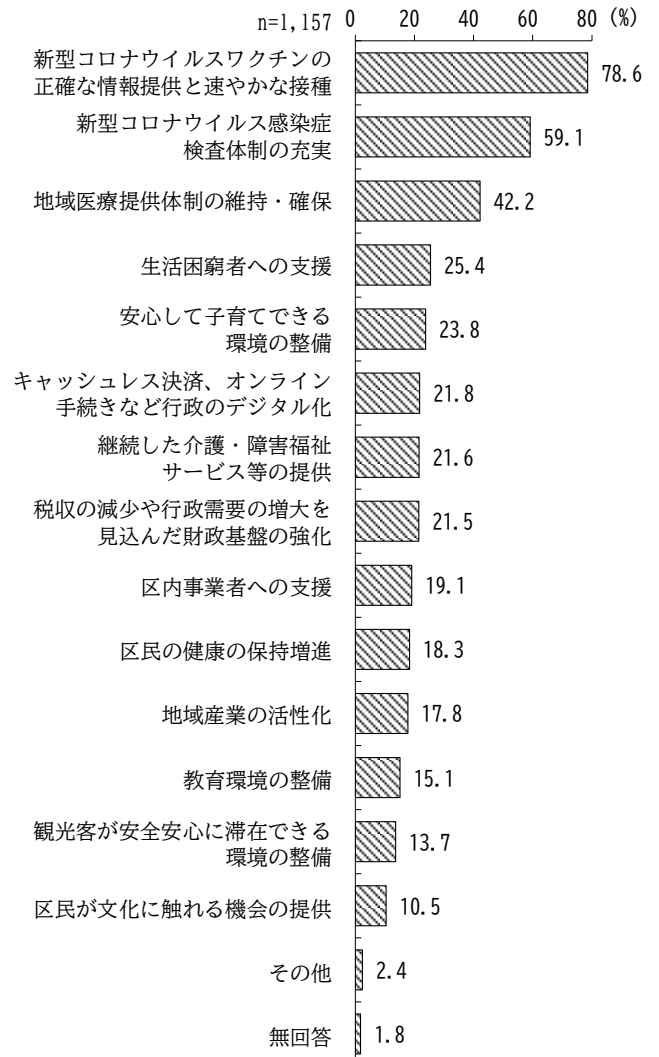
新型コロナウイルス感染症の影響

「旅行など外出することをためらってしまう」が7割半ば



新型コロナウイルス感染症への対応として区が力を入れるべきもの

「新型コロナウイルスワクチンの正確な情報提供と速やかな接種」が8割近く



5-3 新型コロナウイルス感染症対策についての意見や提案

問 12 新型コロナウイルス感染症対策に関することで、ご意見やご提案がありましたら、ご記入ください。

(代表的な意見)

【情報提供について】

- ・他の区と比較して、取組や情報共有が遅いため、もっと早く知らせてほしい。
- ・LINE での情報提供が役立っている。
- ・広報「たいとう」での告知は非常にわかりやすい。

【PCR検査について】

- ・全区民にスピーディに実施してほしい。
- ・無料で受けられるようにしてほしい。

【ワクチン接種について】

- ・ワクチン接種の予約がスムーズに行えるような仕組みづくりをしてほしい。
- ・予約方法をもっと検討してほしい。電話やネットでは老人に負担がかかってしまう。

【要望について】

- ・マスクの着用、手指の消毒等の基本的な感染症対策を皆が徹底するように、もっとアナウンスしてほしい。
- ・コロナ対策が十分に行われていない一部の店舗があるので、見回り等を行ってほしい。

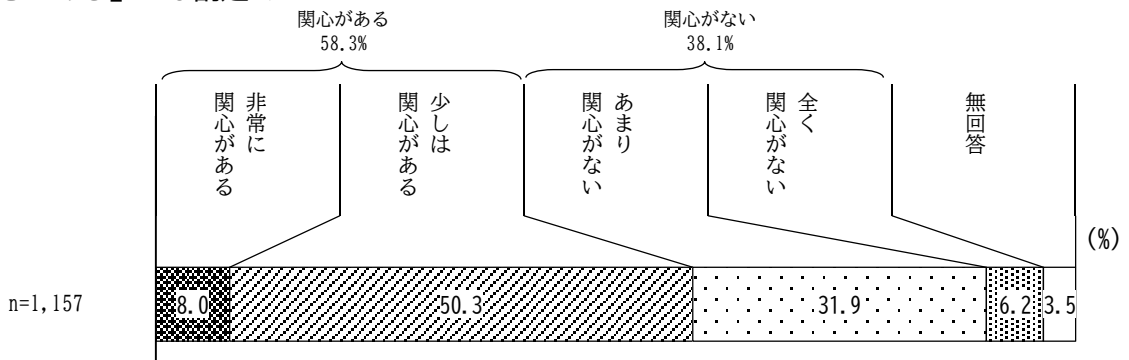
【その他】

- ・給付金、補助金、助成金などの支援の強化が必要である。
- ・自宅待機者の身心のケアが必要である。

22. 区政への関心と要望

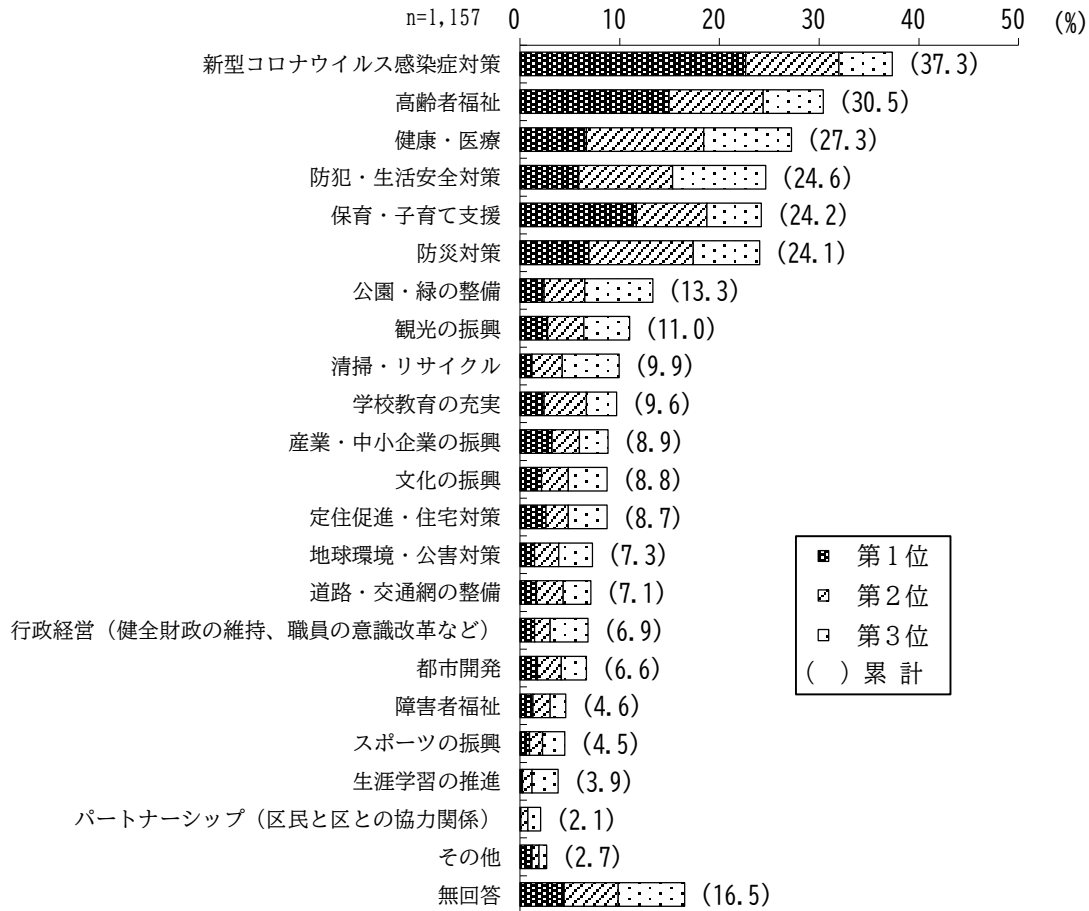
区政への関心度

『関心がある』が6割近く



施策の要望

「新型コロナウイルス感染症対策」、「高齢者福祉」、「健康・医療」が上位3項目

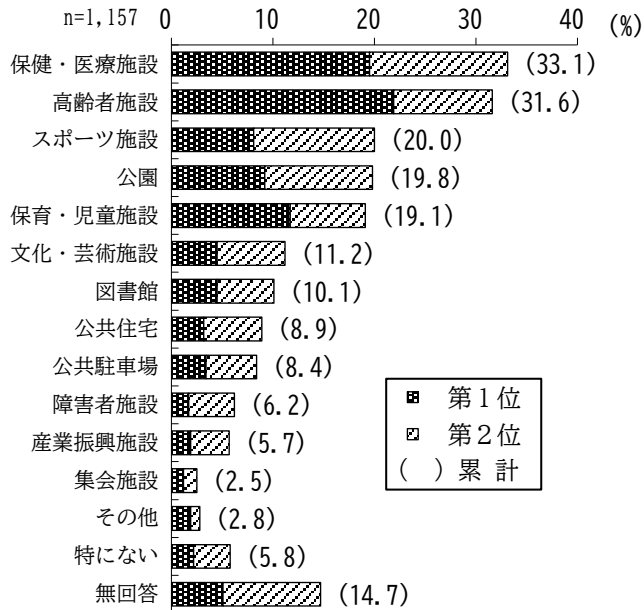


施策の要望－推移（上位10位）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位	(%)
令和3年度	新型コロナウイルス感染症対策 37.3	高齢者福祉 30.5	健康・医療 27.3	防犯・生活安全対策 24.6	保育・子育て支援 24.2	防災対策 24.1	公園・緑の整備 13.3	観光の振興 11.0	清掃・リサイクル 9.9	学校教育の充実 9.6	
元年度	高齢者福祉 38.8	防犯・生活安全対策 30.2	健康・医療 29.7	保育・子育て支援 28.9	防災対策 26.7	清掃・リサイクル 14.1	公園・緑の整備 12.8	学校教育の充実 10.9	定住促進・住宅対策 10.2	道路・交通網の整備 9.7	
平成29年度	高齢者福祉 38.9	防犯・生活安全対策 31.7	保育・子育て支援/健康・医療 31.4		防災対策 28.2	清掃・リサイクル 14.3	公園・緑の整備 13.4	学校教育の充実 11.4	定住促進・住宅対策 10.9	道路・交通網整備 9.7	
27年度	高齢者福祉 43.7	防犯・生活安全対策 35.9	健康・医療 30.1	保育・子育て支援 27.3	防災対策 24.4	公園・緑の整備 13.5	清掃・リサイクル 11.0	道路・交通網の整備 9.6	学校教育の充実 8.9	定住促進・住宅対策 8.8	
25年度	高齢者福祉 40.3	防犯・生活安全対策 30.9	健康・医療 30.2	保育・子育て支援 29.1	防災対策 25.7	公園・緑の整備 17.1	産業・中小企業の振興 13.5	学校教育の充実 13.1	定住促進・住宅対策 10.0	清掃・リサイクル 9.7	
23年度	高齢者福祉 41.5	保育・子育て支援/健康・医療 29.6		防災対策 29.0	防犯・生活安全対策 27.2	公園・緑の整備 16.2	産業・中小企業の振興 13.7	清掃・リサイクル 12.1	学校教育の充実 10.7	観光の振興 10.5	
21年度	高齢者福祉 46.2	健康・医療 36.4	保育・子育て支援 29.7	防犯・生活安全対策 27.3	防災対策 15.8	定住促進・住宅対策 15.3	清掃・リサイクル/公園・緑の整備 14.3	地球環境・公害対策 12.6	産業・中小企業の振興 12.2		
19年度	高齢者福祉 52.5	健康・医療 31.7	防犯・生活安全 31.1	保育・子育て支援 23.6	防災 17.6	公園・緑の整備 14.1	清掃・リサイクル 13.8	地球環境・公害 13.2	定住促進・住宅 12.8	産業・中小企業の振興 9.0	
17年度	高齢者福祉 42.7	治安 31.8	防災 30.1	児童福祉・子育て支援 19.5	住宅 14.2	環境・公害 13.2	中小企業 10.9	保健・健康 10.8	清掃・リサイクル 9.7	緑化推進 9.6	
15年度	高齢者福祉 53.3	防災 21.6	清掃・リサイクル 18.5	児童福祉 16.4	中小企業 16.2	緑化推進 15.0	保健・健康 14.7	住宅 13.6	環境・公害 13.2	障害者福祉 12.3	

施設の要望

「保健・医療施設」、「高齢者施設」、「スポーツ施設」が上位3項目



施設の要望－推移（上位5位）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	(%)
令和3年度	保健・医療施設 33.1	高齢者施設 31.6	スポーツ施設 20.0	公園 19.8	保育・児童施設 19.1	
元年度	高齢者施設 36.8	保健・医療施設 29.1	保育・児童施設 23.4	公園 14.6	スポーツ施設 14.3	
平成29年度	高齢者施設 35.4	保健・医療施設/保育・児童施設 25.8		公共駐輪場 18.1	スポーツ施設 16.1	
27年度	高齢者施設 42.0	保健・医療施設 24.5	保育・児童施設 22.5	公共駐車場 21.2	スポーツ施設 16.3	
25年度	高齢者施設 40.0	保健・医療施設 25.3	保育・児童施設 21.9	公共駐車場 20.0	公園 15.1	
23年度	高齢者施設 38.7	保健・医療施設 26.4	保育・児童施設 22.1	公園 16.5	スポーツ施設 14.9	
21年度	高齢者施設 42.2	保健・医療施設 32.2	保育・児童施設 20.6	公園 14.3	スポーツ施設 13.2	
19年度	高齢者施設 49.9	保健・医療施設 29.8	公園 15.2	保育・児童施設 13.0	公共住宅 12.4	
17年度	特別養護老人ホーム 34.0	保健・医療施設 26.3	スポーツ施設 16.9	区営住宅 14.2	リサイクルセンター 12.0	
15年度	特別養護老人ホーム 41.4	保健・医療施設 33.3	区営住宅 12.5	リサイクルセンター 11.9	スポーツ施設 10.5	

※高齢者施設は平成17年度までは特別養護老人ホーム

2. 区政サポーター制度

公募による区政サポーターにアンケートを実施し、区政への参加を図り、アンケート結果を区政運営に役立てることを目的として、平成19年度から実施しています。

時間の制約を受けずに幅広い年代の区民が参加できるように、郵便とEメールの二つの方法にて、5回のアンケートを行いました。

調査の結果は報告書にまとめ、区政情報コーナーや図書館等で閲覧することができるほか、区公式ホームページ「区民の声」で公開しています。

区政サポーターとは

資 格：公募による、区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便またはEメールで回答する。

任 期：2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

区政サポーター属性（令和3年度委嘱時 200名）

（年齢別）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
14名	24名	35名	44名	33名	23名	21名	6名	200名

（地区・男女別）

地区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中	
男性	2名	3名	3名	13名	15名	5名	
女性	7名	9名	11名	12名	12名	6名	
計	9名	12名	14名	25名	27名	11名	

地区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男性	8名	11名	11名	10名	5名	86名
女性	8名	9名	11名	15名	14名	114名
計	16名	20名	22名	25名	19名	200名

(1) 第1回アンケート調査

1. 調査項目

- 「SHOP たいとうについて」
- 「災害対策について」
- 「ふるさと納税について」

2. 調査概要

調査期間	：令和3年4月27日 ~ 5月10日
調査方法	：郵便による調査 57名
	Eメールによる調査 129名
回収数	：有効回収数 186名
	有効回収率 93.0%

3. 調査結果の概要

【SHOP たいとうについて】

今回の調査では「SHOPたいとう」の区民への認知度が平成30年度の調査時の約3割から、5割近くまで上昇していることが分かりました。その一方で、「区役所へ行った時に知った」と回答した方が8割以上であることから区役所を利用しない方への周知が必要であることが分かりました。

広報誌や区公式ホームページでのPRが少ないとの意見が多くあったことから、周知方法を再度検討したうえで、多くの方が台東区の魅力を知り楽しむことができる環境づくりに取り組んでまいります。

(総務部 総務課)

【災害対策について】

令和元年の台風19号をはじめ、近年、各地で台風や集中豪雨などの災害が発生しています。今回の調査では、地震・水害対策について伺いました。

荒川水害ハザードマップによる浸水想定区域に、自宅が含まれていることを8割以上の方が知っており、7割の方が広域避難をすると回答されました。一方、広域避難をしない方の4割が「自宅が一番安全だと思うから」と回答されました。

新型コロナウイルス感染症の流行による在宅避難への意識の変化については、8割以上の方が「以前から必要であると感じていた」「必要であると感じるようになった」と回答されました。また、在宅避難に備えた備蓄については、3日分以上の備蓄をしている方が7割以上となりました。

今回の調査により、区民の皆様の防災意識が高まっていることが分かりました。この結果を踏まえて、今後も防災対策の周知の推進や支援に取り組んでまいります。

(危機管理室 危機・災害対策課)

【ふるさと納税について】

今回の調査では、約4割の方が「ふるさと納税をしたことがある」と回答しており、制度として身近になってきていることが分かりました。また、ふるさと納税を行った方の多くは、返礼品が魅力的であったことや税控除が受けられることを理由としており、寄附先の自治体との地縁関係や寄附金の使途を理由としている方は少ない傾向となりました。

台東区では、現在、返礼品を活用したふるさと納税の実施に向けて準備をすすめています。返礼品を準備するにあたっては、地場産品や伝統工芸品等の物品だけでなく、観光体験を有効と考えている方の割合が高いことから、台東区の持つ文化・産業・観光の資源を活かした、台東区ならではの返礼品を用意することで、更なる魅力の発信に努めてまいります。

また、クラウドファンディング型ふるさと納税を実施するにあたってのプロジェクトの分野については、文化・産業・観光だけでなく、子育てや教育・福祉等の様々な分野に意見がわかれていることから、多角的な視点で寄附金の使途を考えて実施する必要であることが分かりました。

今回いただいたご意見等を参考に検討してまいります。

(企画財政部 企画課)

(2) 第2回アンケート調査

1. 調査項目

- 「プラスチックごみの削減について」
- 「観光振興について」
- 「子育てについて」

2. 調査概要

調査期間	令和3年7月6日 ~ 7月19日
調査方法	郵便による調査 59名
	Eメールによる調査 124名
回収数	有効回収数 183名
	有効回収率 91.5%

3. 調査結果の概要

【プラスチックごみの削減について】

今回の調査では、マイバッグを毎回使っている方は7割を超え、レジ袋の有料化をきっかけに多くの方がプラスチックごみに関する意識や行動に変化があったことが分かりました。

また、プラスチックごみの分別収集、資源化については、9割近くの方が「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答されました。一方、反対の理由として「分別の種類が増えて面倒だから」と回答する方が多く、分別収集を始める際には「分別方法をわかりやすく周知する」「分別の手間がなるべくかからないような方法にする」といった対応が必要だということが分かりました。

今回の結果を踏まえて、使い捨てプラスチック等の削減を進めるとともに、更なるプラスチックの資源化を検討してまいります。

(環境清掃部 清掃リサイクル課)

【観光振興について】

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客は激減しています。引き続き、感染症予防対策を行い、施設や店舗の安全性を高めつつ、状況の変化に対応した観光施策を推進していくことが重要です。

今回の調査によると、台東区に多くの観光客が訪れることについて好ましく思う方は全体の9割を超え、観光客が訪れることによるプラスの効果は、「飲食業や宿泊業、地場産業等が潤い、経済効果がある」などの回答がありました。

一方で、観光客が訪れることによるマイナスの影響として、「ごみが増える」、「新型コロナウイルス感染症等の感染症拡大の要因になる」と回答した方が多くみられました。

今回の調査結果を参考に、区民の皆様の安全安心につながるよう、今後も様々な課題に対する総合的な観光施策を展開してまいります。

(文化産業観光部 観光課)

【子育てについて】

今回の調査では子供に体罰を与えることについて、「場合によっては必要だと思う」と回答した方が3割以上という結果になりました。子供に体罰を与えることは、いかなる場合であっても法律で禁止されています。そのため、引き続き体罰によらない子育ての推進に取り組んでまいります。

体罰によらない子育ての周知方法については、「保健所や保育園・学校などから配布されるチラシ」と回答した方が最も多かったことから教育委員会等と連携した周知が必要であることが分かりました。

また、0歳から18歳未満の児童の相談ができる「子育て総合相談」が子ども家庭支援センターにあることを6割以上の方が知りませんでした。

今後は、子育て総合相談の周知も積極的に行い、区民の子育て支援の向上に努めてまいります。

(区民部 子ども家庭支援センター)

(3) 第3回アンケート調査

1. 調査項目

「健康づくりについて」

「障害者のコミュニケーションに関する認識について」

2. 調査概要

調査期間：令和3年9月29日～10月12日

調査方法：郵便による調査 57名

Eメールによる調査 128名

回収数：有効回収数 185名

有効回収率 92.5%

3. 調査結果の概要

【健康づくりについて】

長引くコロナ禍の自粛生活等により、運動不足や体力・筋力の低下、体重の増加、また、外出できないことによる精神的なストレスから不調をきたすなど、心身に悪影響をもたらし、健康づくりへの課題が生じていると言われてしています。

今回の調査結果から、新型コロナウイルス感染症の影響により、約7割の方が運動不足を感じ、約9割の方が人と会う機会が減ったと回答され、健康づくりに大きな影響をもたらしていることがわかりました。

また、講習会などの動画配信については、体操や食事への関心が多いことがわかりました。

今回の調査結果をもとに、今後の事業の企画立案等に反映し、より多くの方々に健康づくりについて関心を持っていただけるように引き続き取り組んでまいります。

(健康部 保健サービス課)

【障害者のコミュニケーションに関する認識について】

今回の調査では、「台東区手話言語の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」について「知らない」と回答された方が9割を超え、また、区が手話講習会を開催していることについて「知らない」と回答された方が7割を超えていることがわかりました。

一方で、手話が言語であることを「知っている」と回答された方が7割、手話について「非常に関心がある」「どちらかと言えば関心がある」と回答された方が8割近くにのぼり、手話への関心の高さを伺うことができました。さらに、「コミュニケーション手段を学びたい」「障害への理解を深めたい」という意見も多くありました。

今回の結果を踏まえ、条例の施行や手話講習会などの更なる周知を図るとともに、障害の理解促進やコミュニケーション支援につながる新たな方策についても検討するなど、共生社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

(福祉部 障害福祉課)

(4) 臨時アンケート調査

1. 調査項目

「新型コロナウイルス感染症の影響について」

2. 調査概要

調査期間：令和3年10月26日～11月1日

調査方法：郵便による調査 57名

Eメールによる調査 122名

回収数：有効回収数 179名

有効回収率 89.5%

(5) 第4回アンケート調査

1. 調査項目

「生涯学習について」

「地域活動・協働について」

「都市交流について」

2. 調査概要

調査期間：令和3年12月9日～12月22日

調査方法：郵便による調査 59名

Eメールによる調査 118名

回収数：有効回収数 177名

有効回収率 88.5%

3. 調査結果の概要

【生涯学習について】

今回の調査では、過去1年間に何らかの生涯学習をしたことがある方は、約7割という結果になりました。生涯学習を行った場所や形態について「自宅での学習活動（書籍など）」と回答した方が最も多いことや、過去1年間に生涯学習をしなかった理由について「新型コロナウイルスの影響のため」と回答した方が最も多いこと、Zoom等を利用したオンラインでの学習を利用したことがあると回答した方が約5割ということなどから、コロナ禍という世相を反映した結果となりました。また、就労世代が参加しやすい講座の開催や、申し込み方法、情報発信の改善などについて貴重なご意見をいただきました。

今回の調査結果をもとに、今後もより多くの方が生涯学習に親しみ、学習活動の楽しさを享受いただけるよう、事業の周知と充実を図ってまいります。

(教育委員会 生涯学習課)

【地域活動・協働について】

今回の調査で、地域活動について「現在活動している」と回答した方は約2割という結果になりました。そのうち、「区と協働で事業を実施したことがある」と回答した方は約4割でした。

区と協働したことでの良かった点として、「区との繋がりができた」「活動の幅が広がった」との回答が多かった一方で、課題として「調整することが多く、時間がかかった」との回答が多く、協働することの難しさも見られました。

今回いただいたご意見を参考に、地域で活動する団体同士や行政とのパイプ役を担う中間支援組織とも連携して、地域活動に関する情報発信・機会の提供を行うとともに、更なる協働の推進を図ってまいります。

(区民部 区民課)

【都市交流について】

今回の調査で、台東区と姉妹・友好、連携都市との交流に関心が「ある」「どちらかといえばある」と回答した方と、様々な都市と交流することが「必要である」と回答した方は、ともに約8割となりました。一方で、区と姉妹・友好、連携都市が、文化・産業・観光・スポーツ等の様々な分野で交流していることを「知っている」と回答した方は4割に留まっていることから、都市交流に関する情報発信を充実し、区民が交流事業に参加できる環境づくりが必要であることが確認できました。

今回いただきましたご意見を参考に、様々な分野における区民主体の交流が一層推進されるよう、これからも効果的な都市交流事業を展開してまいります。

(国際・都市交流推進室 都市交流課)

令和3年度
広聴一年（区民の声）

発行・編集 令和4年8月
台東区 総務部 広報課
令和4年度登録第19号